

2022 年度コンプライアンス法制部会発表（概要）

グローバルコンプライアンス体制・推進活動の実効性評価

前田絵理氏（EY 弁護士法人）

グローバルコンプライアンス体制構築の必要性がいわれて久しい。グローバルに展開している日本大企業は既に一応の体制を整備している状況にあるが、果たしてそれらは効果的に機能しているといえるか。限りある資源を効果的に、かつ、適切に体制維持、改善、モニタリングなどの運用に充てることができるか。グローバルコンプライアンス体制の土台となる企業文化を醸成すべく全社を挙げて適切なコンプライアンス推進活動が行われているか。ガバナンス体制、リスクマネジメント体制、内部統制システムとコンプライアンス体制の関係性を整理しつつ、グローバルコンプライアンス体制およびその推進活動の「実効性評価」の際の視点をお話しします。